

2019年1月1日～2023年12月31日の間に福山市民病院外科において 急性腸間膜動脈閉塞症の治療を受けられた方へ

—「当院における急性腸間膜動脈閉塞症 22 例に対する治療成績の検討」へご協力をお願い—

当院では以下の臨床研究を実施しています。この研究は、当院倫理審査委員会において倫理的および科学的に問題がないか審査を行い承認され、院長の許可を得ています。ご理解とご協力をお願いいたします。

研究機関名 福山市民病院
研究責任者 福山市民病院 診療部 初期臨床研修医 土井 廉太郎
研究分担者 福山市民病院 外科 科長 石川 亘

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

急性腸間膜動脈閉塞症(AMAO)は、腸間膜動脈に閉塞が起こり広範な腸管虚血をきたすことで、多臓器不全に陥る重篤な疾患です。早期診断・治療が予後に大きく関わる急性腹症であり、外科的な介入が困難な場合も少なくありません。本研究では、2019年1月から2023年12月までに当院で治療したAMAOの22例について、患者背景、周術期の経過、治療方法および治療成績を後ろ向きに検討することを目的としています。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

急性腸間膜動脈閉塞症(AMAO)は、腸間膜動脈に閉塞が起こり広範な腸管虚血をきたすことで、多臓器不全に陥る重篤な疾患であるため、本研究によって治療成績を検討することで、今後のAMAOに対する治療の一助となり得ます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2019年1月1日～2023年12月31日の間に福山市民病院外科において急性腸間膜動脈閉塞症の治療を受けられた方22名を研究対象とします。

2) 研究期間

(倫理審査委員会承認日)～2029年12月31日

3) 研究方法

2019年1月1日～2023年12月31日の間に当院において急性腸間膜動脈閉塞症の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに患者背景、周術期の経過、治療方法、治療成績のデータを選び、急性腸間膜動脈閉塞症に関する分析を行い、急性腸間膜動脈閉塞症の出現する仕組みについて調べます。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたのデータより病院のID、氏名を取り除き、研究対象者の個人情報とは無関係の番号をつけて、個人が特定できないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- 年齢、性別、家族歴、既往歴
- 診察所見、栄養状態、治療内容、WBCやLactateなどの検査データ

6) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、福山市民病院電子カルテ内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、当院のホームページに掲示してお知らせします。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等(父母(親権者)、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人)を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究はあなたのデータを個人が特定できない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2024年12月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

福山市民病院 診療部 土井 廉太郎
電話：084-941-5151